

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 3月 1日

事業所名 大阪発達総合療育センター あさしお園

	チェック項目	回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	はい	法令を遵守したスペースを確保しています。使用目的・人数に応じて、部屋を交替しつつ行っています。個室環境を整えるように検討中です。
	2 職員の配置数は適切である	はい	法令で必要とされる配置数を確保しております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	はい	子どもの特性に応じて集中しやすい環境を整えるようにしております。視覚支援なども利用し、手洗い・部屋をわかりやすいようにしています。バリアフリーにも配慮してまいります。さらに部屋をシンプルにしていくために、倉庫の設置を準備中です。床にはマットをひき、快適で安全に過ごせるようにしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	はい	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	はい	法人内の職員教育としてPDCAサイクルについて研修を積んでおります。また、年に2回のモニタリングで結果を振り返り、新たな目標設定を行い支援を行っております。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	はい	保護者からの満足度アンケートを行っております。今年度より、自己評価表による結果を公表します。保護者からいただいた意見については、改善に取り組んでおります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	はい	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	いいえ	現在は、利用者・事業所内の評価を実施しております。第三者による評価は現在のところ予定しておりませんが、必要に応じて実施を検討してまいります。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	はい	職員の資質向上のため、法人内のキャリアに応じた研修、技術研修、学会や研修会への参加を積極的に勧めております。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	はい	年に2回のモニタリング、関係機関からの情報収集、日々の保護者からの聞き取り、子どもの成長発達の評価を多職種で行い、支援計画に反映させております。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	はい	標準化されたアセスメントシートを使用して評価を行っております。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	はい	ご家族の希望やアセスメント内容を踏まえ、個別支援計画を作成します。子どもの年齢や環境に合わせ、発達支援・家族支援・移行支援を柱とし支援計画に沿って療育支援を行っています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	はい	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	はい	活動プログラムはチームで立案しております。支援後には振り返り、支援内容がマンネリ化せず、子どもの成長発達を促すために、楽しく興味を持って参加できるよう季節感、段階付けを意識して行っております。目標とする機能の難易度や適応度合いなどによって、集団活動と個別活動を組み合わせて、支援を組み立てております。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	はい	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	はい		

	チェック項目	回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	はい	支援開始前には打ち合わせを行い、役割分担を確認しています。支援終了後は、内容や子どもの様子を振り返り情報共有します。ひとつの活動を段階的に経験できるように配慮したり、繰り返すことで強化しています。日々の支援内容を記録し、検証・改善につなげています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	はい	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	はい	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	はい	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	はい	サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者・保育士・看護師・療法士が適宜参加しております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	はい	子どもと家族の必要性に応じて地域の担当保健師、主治医、機関病院の地域連携室、保育所、幼稚園、児童デイサービス、教育機関など子どもと関わる機関との連携に努めております。医療的ケアが必要な子どもさんにも楽しく遊ぶ時間やリラックスできる時間、生活の支援方法などを検討し、地域や保護者と共通理解を図っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	はい	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	はい	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	はい	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	はい	子どもが利用している事業所と情報交換しお互いの支援の研鑽につなげています。外部専門家による研修に参加しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	はい	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	はい	地域保育所との交流を、クラスごとに年1~2回ずつ行っております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	いいえ	自立支援協議会や地域の子ども部会への参加はできておりません。それぞれが企画する研修会での交流はあります。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	はい	常に保護者とは、コミュニケーションを図り、子どもの状況を共通理解するようにしています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	はい	定期的に保護者研修会を実施し、好評を得ています。さらに保護者のニーズに対応できるよう内容を更新してまいります。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	はい	入所時に説明会を実施しております。ご質問には、関係機関からの情報収集も行い丁寧にお答えするように努めております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	はい	家族の希望をお聞きし、多職種で行ったアセスメントをもとに個別支援計画を立案し、保護者に説明し同意を得ています。

	チェック項目	回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	はい	定期的に保護者からお話をお聞きすることに加え、支援の前後や母子分離の時間などにも近況をお聞きする時間を設けるようにし、タイムリーな対応を心がけております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	はい	父母会と協同で施設の運営にあたるよう、ミーティングを定期的にもっています。保護者が自発的にお互いに声を掛け合える関係ができるよう支援しています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	はい	全職員が保護者からの相談事に真摯に向き合い、報連相により迅速に適切な支援ができるよう職員の体制も整えています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	はい	定期的に園便りを発行し、活動や行事の予定を提示しています。法人の広報誌にも、近況を掲載するようしております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	はい	個人情報が記載された書類は、鍵つきキャビネットで保管しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	はい	それぞれのコミュニケーション能力に応じた手段を選択し、保護者からの了解を得て対応します。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	いいえ	年に2回地域の方にご協力いただき、行事を行っています。いろいろな形での交流をさらに検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	はい	各種マニュアルは策定しておりますので、保護者への周知について検討いたします。避難訓練を年に2回実施しております。参加されない保護者への周知に努めます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	はい	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	はい	入所時に服薬やアレルギーの有無、予防接種などの情報収集を行い、随時医師の指示に基づき看護師が対応しております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	はい	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	はい	ヒヤリハットについては、毎日活動終了後に確認しあい、対応を話し合っております。記録に残し職員間で共有しております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	はい	虐待に関する研修を毎年受けております。外部の研修会にも参加するなどしております。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	はい	安全上必要な身体拘束については、個別支援計画に具体的に明記し、支援終了後に不適切な対応がなかったかを、保護者に説明し同意を得ています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。